

UiPath Robot の 外部トリガーによる実行について

免責事項

本資料は、UiPath ガイド (<https://docs.uipath.com/lang-ja/>) の内容と整合性を保つよう細心の注意を払っておりますが、最新情報でない可能性があります。

最新情報につきましては、ガイドの記載を参照してください。 本資料に記載されている情報については、弊社では細心の注意を払っておりますが、その正確性や妥当性を保証するものではありません。本資料に記載された URL は予告なしに変更または中止されることがあります。

本資料を参照する前に

本資料では、下記の公式ガイドおよび規約に基づいた内容となっております。

最新情報につきましては、下記をご参照ください。

UiPath ライセンシングポリシー

<https://licensing.uipath.com/> （最新情報/英語）

<https://www.uipath.com/ja/licensing-models> （参考和訳）

製品ライフサイクル

<https://www.uipath.com/ja/product-lifecycle>

UiPath ガイド

<https://docs.uipath.com/lang-ja/>

ロボットの種類—ライセンスの種類別

<https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/according-to-license>

Attended と Unattended ロボット

<https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/attended-vs-unattended>

ロボットの種類—デプロイの種類別

<https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/according-to-deployment>

Orchestrator ジョブについて（モダンフォルダ利用前提）

<https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/docs/about-jobs>

UiPath Robot 外部トリガーによる実行について

下表では、UiPath Robot の外部トリガーによる実行をする場合に想定された典型的なユースケースを取り上げ、ロボットの種類別に技術的、規約およびサポートの観点における方針についてまとめています。

2021 年 7 月現在

技 術	規 約	サ ポ ー ト	Robot の種類と外部トリガーによる実行のユースケース	
			Attended Robot	Unattended Robot
✓	✓	✓	<u>UiPath Assistant</u> から実行 <u>UiPath Apps</u> から実行 <u>コマンドプロンプト</u> による手動実行 <u>JavaScript Add-in</u> による手動実行	Orchestrator による実行
✓	✓	✗	Windows タスクスケジューラ実行 ※ 1 (ユーザの直接操作による AR 起動限定) 例: 起動トリガーが「ログイン時実行 (At log on)」等	
✓	✗	✗	Windows タスクスケジューラ実行 ※ 2 (直接ユーザの操作によらない AR 起動) 例: スケジュール実行	Windows タスクスケジューラ実行 ※ 3 例: スケジュール実行
✗	✗	✗	Orchestrator による実行	Windows ユーザーセッションが無い状態でのコマンドライン実行 例: 実行ユーザがログオフしている状態

※1 Attended Robot のコマンドプロンプトによる手動実行で発生した不具合についてはサポート対象

※2 UiPath ライセンシングポリシー 内、定義語「Attended Robot」部分参照

※3 UiPath ライセンシングポリシー 内、定義語「Unattended Robot」部分参照